

令和元年度事業報告について

1 調査研究事業

医療、保健衛生等の分野における各種の在宅医療・介護等について、次のとおり調査研究を行った。

(1) 在宅介護実態調査

神戸市医師会に委託して、神戸市医師会会員が主治医として診察している在宅長期寝たきり者について、次のとおり実態調査を行った。

ア. 回答集計

在宅長期寝たきり者（令和元年7月1日現在、6か月以上寝たきり又はそれに準じる者）

総 数 2,076人（男性 754人、女性1,322人）

（平均年齢 83.5歳 男性79.4歳、女性85.8歳）

イ. 医療の対象である主たる病名

① 脳梗塞及び脳出血後遺症・脳血管障害	459人（22.1%）
② 認知症	320人（15.4%）
③ 高血圧症・心疾患	319人（15.4%）

ウ. 「寝たきり」の原因となった主たる病名

① 脳梗塞及び脳出血後遺症・脳血管障害	503人（24.2%）
② 廃用性症候群	397人（19.1%）
③ 認知症	271人（13.1%）

エ. 在宅で行っている医療行為（複数回答可）

① 胃瘻（空腸瘻含む）による経管栄養	208人（10.0%）
② リハビリなどの機能訓練	177人（8.5%）
③ 皮膚病変の処置、管理	170人（8.2%）
④ 尿道留置カテーテル、腎瘻、人工膀胱	163人（7.9%）

オ. 医学的見地から、より充実させるべき医療行為（複数回答可）

① 訪問リハビリテーション	684人（32.9%）
② 入院のための病診連携	540人（26.0%）
③ 他科医師との連携	425人（20.5%）
④ 訪問看護	422人（20.3%）

カ. 現状で不足していると思われるサービスの種類（複数回答可）

① なし	785人（37.8%）
② 訪問リハビリテーション	445人（21.4%）
③ 短期入所療養介護（ショートステイ）	382人（18.4%）
④ 訪問看護	232人（11.2%）
⑤ 訪問介護（ホームヘルパー）	193人（9.3%）

キ. 主として介護している人

① 子供（女）	422人（20.3%）
② 親族以外の人（女）	382人（18.4%）
③ 配偶者（女）	348人（16.8%）
④ 子供（男）	217人（11.2%）

ク. 1年間の看取り数

総数2,062人（前年度1,696人）

在宅での看取り 902人（43.7%）

在宅以外 1,160人（56.3%）

（特養、老健、高齢者住宅、有料老人ホーム他）

(2) 神戸リハビリテーション病院退院患者調査

病院退院先の推移

（単位：人）

年度	退院患者数	家庭	病院	老人保健施設	老人福祉施設	その他
29	704	485	101	68	12	38
30	765	563	94	49	22	37
元	827	594	101	71	36	25

家庭復帰した退院患者のうち、居宅介護サービス等を利用する方について、担当のケアマネジャーに対し、在宅生活における状況等の調査を行った。

回答総数 136件（男性54人、女性82人）

ア. 退院前の主な疾患

①脳血管疾患	71件（52.2%）
②整形疾患	61件（44.9%）
③脊髄疾患他	4件（2.9%）

イ. 急性増悪の有無

①増悪なし	123件（90.4%）	
②増悪あり	11件（8.1%）	骨折、脳梗塞、肺炎等
③不明	2件（1.5%）	

ウ. 機能低下の有無

①機能低下なし	106件（77.9%）	
②機能低下あり	28件（20.6%）	下肢筋力、認知機能低下等
③不明	2件（1.5%）	

エ. 退院後の居場所

①自宅	116件（85.3%）
②サ高住・有料老人ホーム	9件（6.6%）
③入院中	7件（5.2%）
④その他	4件（2.9%）

(3) 神戸リハビリテーション病院入院患者の口腔調査研究

ア. 目的

摂食・嚥下機能の中で食塊形成や食塊の送り込みには、舌の機能が大切である。嚥下運動は上下の歯を噛み合わせると同時に舌を口蓋に向けて挙上させることによる陽圧と陰圧の差を利用した連続的な運動である。そのため舌を口蓋に押し付ける力（舌圧）の低下は食事中にむせや、嚥下時の食物残留と関係していることがわかっている。

舌の運動機能と舌圧を関連づける報告があることから、神戸市歯科医師会では、平成 27 年度から神戸リハビリテーション病院歯科において、歯科受診患者の舌圧測定を実施してきた。

その間、平成 30 年には診療報酬改定において「口腔機能低下症」の病名が保険病名としてとりあげられ、舌圧測定は口腔機能低下症の診断のための機能検査として位置づけられた。

本報告では、令和元年度に実施した神戸リハビリテーション病院における舌圧測定の解析した結果を記述する。

イ. 対象・方法

対象は、神戸リハビリテーション病院に入院中の整形外科手術等、脳血管障害患者の内、同院歯科を受診した患者である。舌圧検査の実施に同意を得た患者 130 名（男性 50 名、女性 80 名）に検査を実施した。年齢構成は男性が 21～96 歳、平均年齢 73.26±15.19 歳、女性が 41～91 歳、平均年齢 76.99±10.30 歳である。これらのうち最大舌圧の測定値が極度に低い女性 2 名（ともに舌圧測定値 2 kPa）を除いた。また、最大舌圧は年齢による差が著しいため、実際の解析には 20～40 歳代の被験者 7 名を除いた 50 歳以上の患者 121 名（男性 45 名、女性 76 名）の測定結果を解析に用いた。表 1 に被検者の年齢構成、平均年齢を示す。

最大舌圧の測定には JMS 社製舌圧測定器を用い、プローブ先端にあるバルーンを舌と口蓋の間に入れてバルーンを舌で押さえることで、各患者の最大舌圧を測定した。

表 1 本調査で解析した被験者

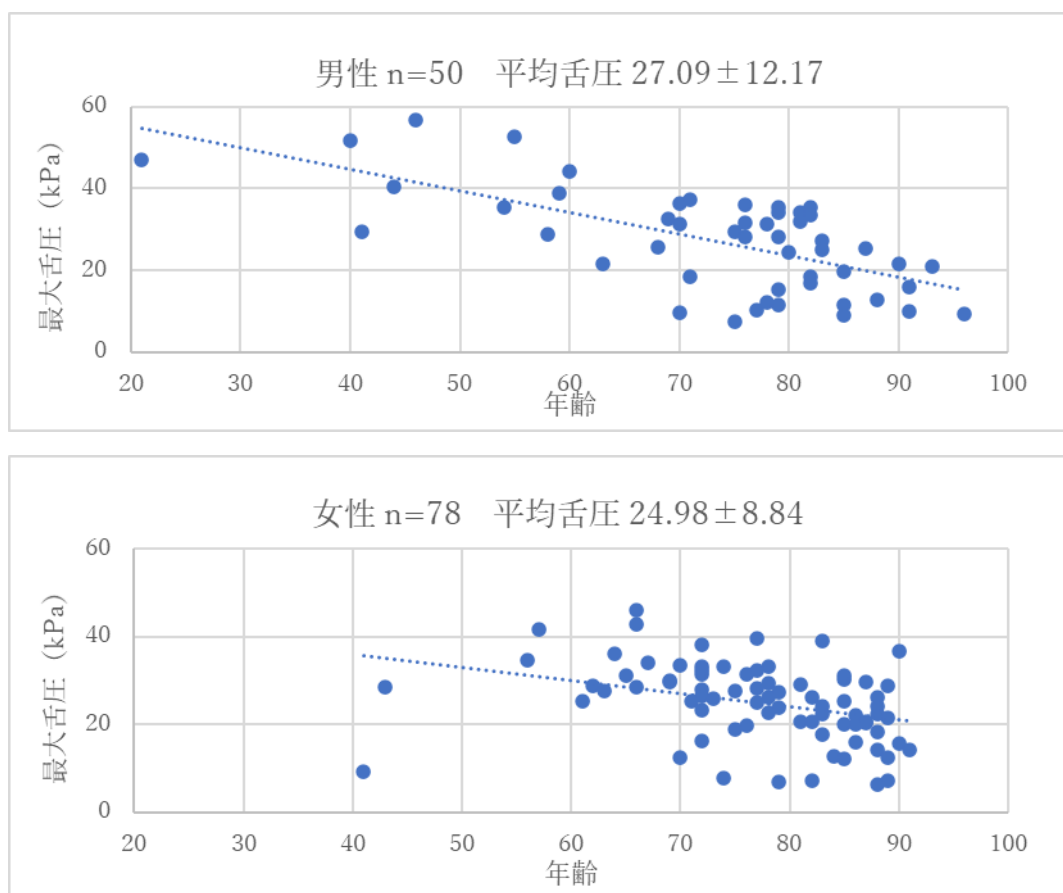
	男性	女性
50 歳代	4	2
60 歳代	4	11
70 歳代	18	29
80 歳代	14	31
90 歳以上	5	3
平均年齢	77.13±9.87	77.91±8.70

ウ. 結 果

①年齢と最大舌圧の関係

128名の年齢と最大舌圧の関係を図1に示す。男女ともに年齢が上がるとともに最大舌圧値は下がる傾向があり、特に男性においては両者に負の相関関係が顕著に認められた。

図1 年齢と最大舌圧の関係



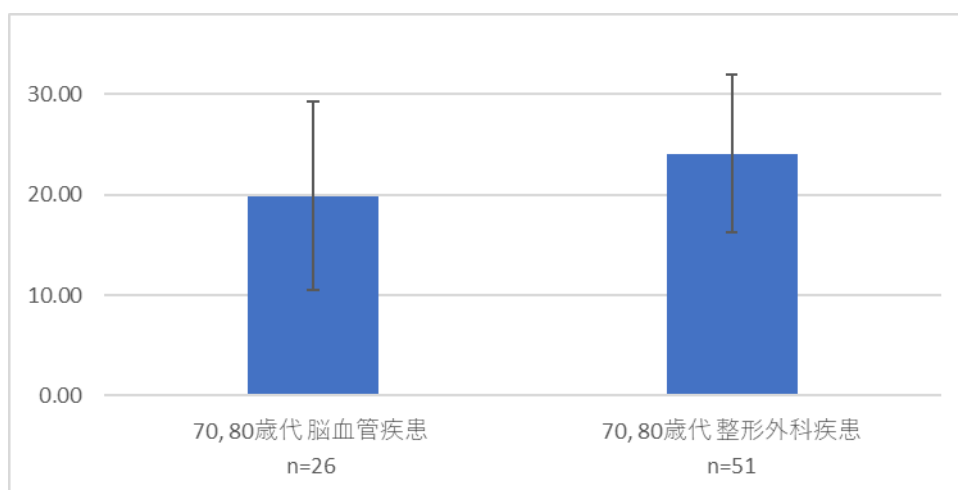
②病型と最大舌圧の関係

50歳以上の被験者121名の、主病名を以下の3群に分けた。脳血管疾患（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、硬膜下出血、硬膜下血腫等）、整形外科疾患（骨折、変形性骨関節症等）、脊髄疾患その他（脊柱管狭窄およびその他の疾患）。病型と最大舌圧との関係を表2に示す。最大舌圧は脳血管疾患と整形外科疾患の間に有意な差はなかった。しかしながら、両群の平均年齢は整形外科疾患の患者群のほうが高かった。また、脊髄疾患その他の患者は若干高い最大舌圧を示した。主病名が脳血管疾患患者と整形外科疾患患者のうち、70・80歳代の患者を抽出し、最大舌圧を比較した。整形外科疾患の患者に比べて、脳血管疾患患者のほうが有意に最大舌圧は低かった ($p < 0.05$ 、図2)。

表2 病型と最大舌圧の関係

病型		年齢	最大舌圧 (kPa)
脳血管疾患	(n=37)	73.41±9.53	23.83 ±11.17
整形外科疾患	(n=65)	80.68±8.39	24.54 ± 8.74
脊髄疾患他	(n=19)	75.37±6.74	28.59 ± 6.87

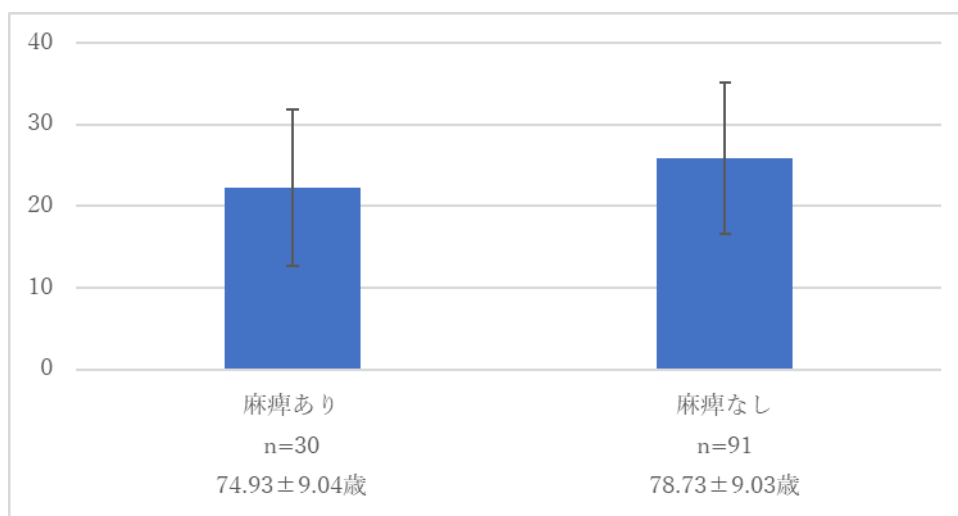
図2 70・80歳代脳血管疾患および整形外科疾患患者の最大舌圧



③麻痺の有無と最大舌圧の関係

121名の被験者における麻痺の有無と最大舌圧の関係を図3に示す。麻痺を有する患者は最大舌圧が低い傾向があった。

図3 麻痺の有無と最大舌圧の関係



④血清アルブミン値と最大舌圧の関係

121名の被検者における血清アルブミン値と最大舌圧の関係を図4に示す。血清アルブミン値が3.5g/dl以下の患者は3.6g/dl以上の患者に比べて最大舌圧が低い傾向があった。両群の年齢層は血清アルブミン3.5g/dlの患者のほうが高かったため、70歳代の被検者47名について同様の解析を行った(図5)。血清アルブミン3.5g/dlの群の平均値は3.6g/dl以上の群に比べ、若干低い舌圧測定値を示したが、両群の差は有意ではなかった。

図4 血清アルブミン値と最大舌圧の関係

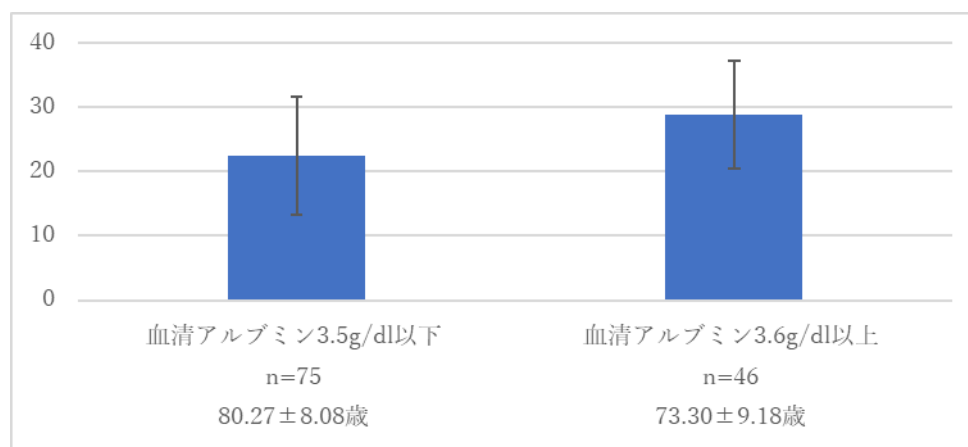
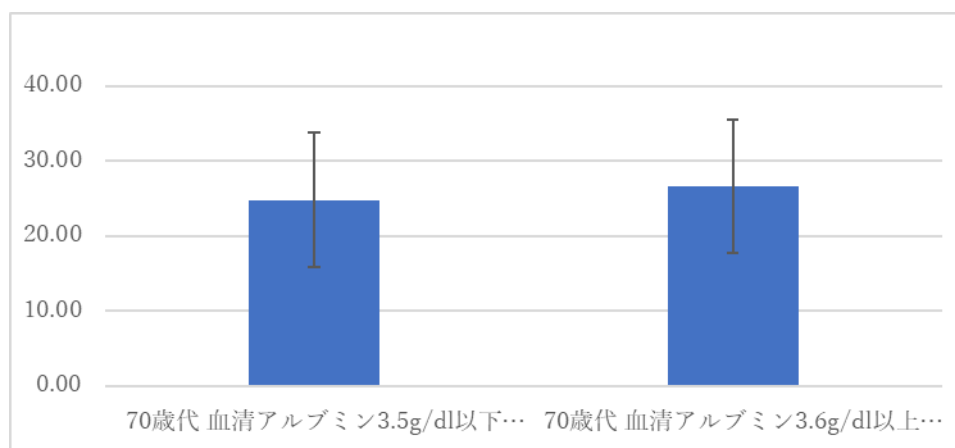


図5 70歳代被験者の血清アルブミン値と最大舌圧の関係



⑤咬合支持の有無と最大舌圧の関係

咬合支持の分類としてEichnerの分類を用いた。すなわち、A群：咬合支持域すべてに咬合支持をもつもの、B群：臼歯の咬合支持域が失われたもの、C群：前歯および臼歯の咬合支持域が失われたもの、の3群に分類した。図6にEichnerの分類と最大舌圧の関係を示す。咬合支持が失われるにしたがって最大舌圧の値は減少する傾向があった。しかしながら、3群の年齢構成はA型が最も低く、次いでB型、C型の順に上がっていた。そこで70歳代の被験者47名のEichnerの分類と最大舌圧の関係を調べたが、3群に有意な差を認めなかった(図7)。

図6 咬合支持の有無と最大舌圧の関係

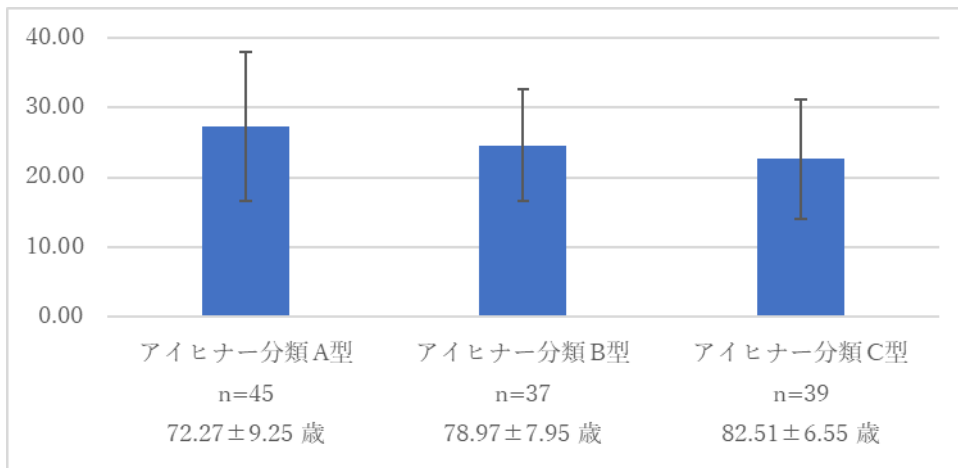
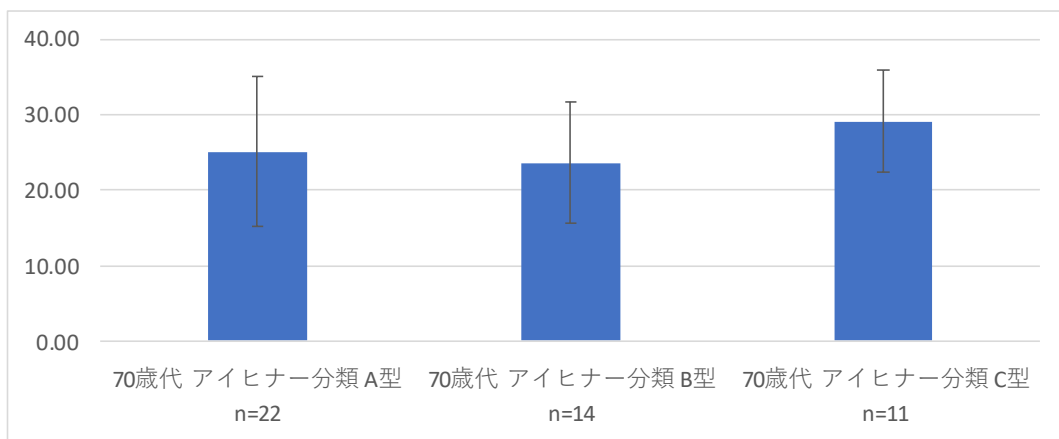


図7 70歳代被験者の咬合支持の有無と最大舌圧の関係



⑥リハビリテーションの最大舌圧値への効果

121名の患者のうち79名（男性28名、女性51名）については、退院時にも最大舌圧の測定を行った。79名の入院時と退院時の最大舌圧測定値の比較を行った（図8）。男女ともに退院時の最大舌圧は入院時に比べて有意に上昇した（ $p < 0.01$ ）。麻痺を有する患者においても麻痺のない患者と同様に、退院時には最大舌圧が有意に上昇した（ $p < 0.01$ 、図9）。

図8 リハビリテーションが最大舌圧に与える影響

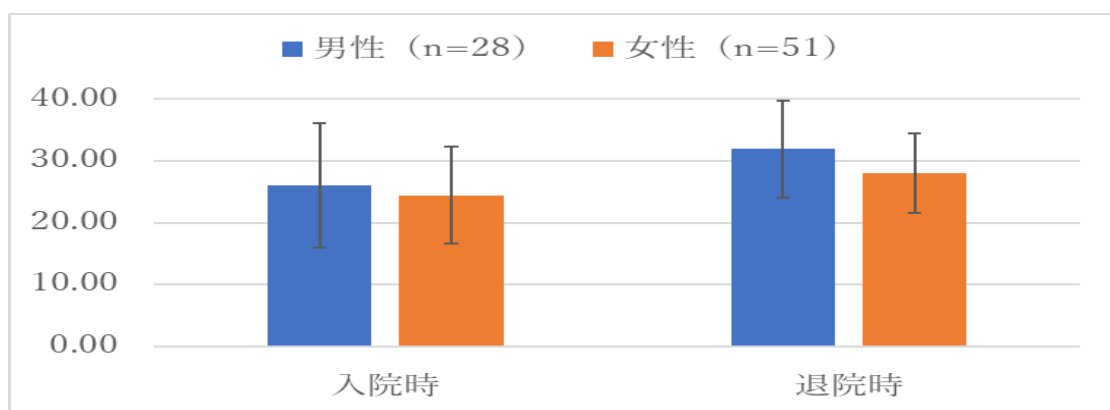
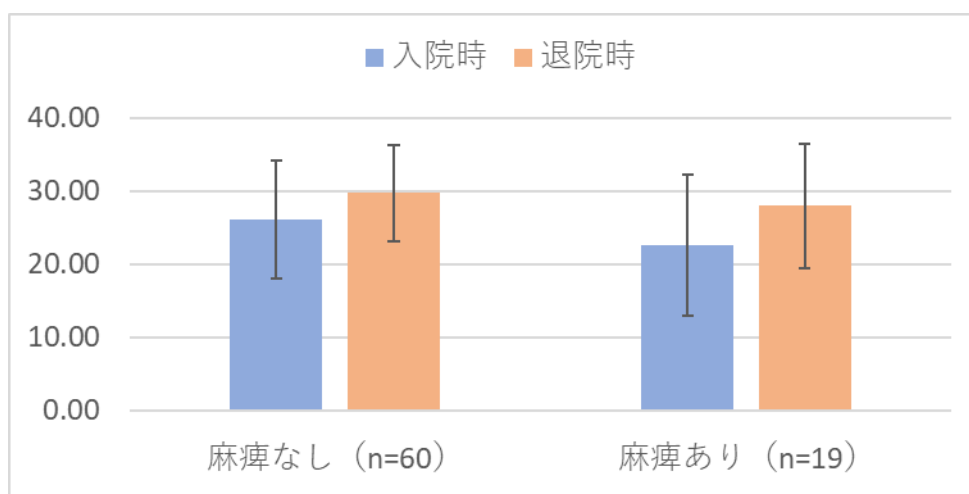


図9 麻痺を有する患者のリハビリテーションが最大舌圧に与える影響



2 地域医療・介護向上支援事業

地域における医療・介護の向上のための人材育成、及び在宅高齢者等支援のための普及啓発事業を行った。

(1) 医療・介護人材育成

ア 実習生等の受け入れ 年間 延べ1,957人・日

イ 障害福祉サービス事業所への理学療法士派遣 年間4回

しあわせの村内にあるワークホーム緑友へ神戸リハビリテーション病院の理学療法士を派遣し、利用者の状態に沿ったストレッチや運動についての指導・助言等を施設職員に対して実施した。

※ 講演会の中止

令和2年2月29日に開催を予定していた訪問看護に関するシンポジウムについて、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。

(2) 在宅高齢者等の支援

ア 合同実践発表会 令和2年2月22日（神戸市医師会館）

地域の医療・介護従事者等が参加し、「認知症とともに生きる」をテーマとした講演会と事例発表による研修会を開催した。

3 神戸リハビリテーション病院の管理運営

脳血管障害者等の家庭・社会復帰を目的とし、リハビリテーションを主として医療・看護・介護サービスを提供する神戸リハビリテーション病院を引き続き運営した。

令和元年度は、回復期リハビリテーション病棟において、急性期病院等との連携により重症患者の受入れ、在宅復帰率の向上に努めた。また、休日のリハビリテーションや患者1人・1日あたりリハビリテーションの実施時間の増加に努めるなど、より一層のリハビリテーションの充実と患者サービスの向上に努めた。

また、病院建物が長期にわたり安全・快適な入院環境で使用できるよう計画に沿った保全工事を実施した。

<概要>

(所在地) 北区しあわせの村1番18号(しあわせの村内)

(施設規模) 鉄筋コンクリート造4階建、及び別棟作業療法室(リハ・神戸に併設)
延床面積 12,731㎡

(施設概要) 病床数 180床(療養病床)
[内訳] 4人室 36室、個室 22室、特別個室 2室
ICU(4人室) 3室

昭和63年6月1日開設

平成11年6月に全棟を「療養型病床群」(医療保険型)に変更

平成18年8月 回復期リハビリテーション病棟施設基準追加取得し全病棟回復期リハビリテーション病棟とする(計 3病棟 180床)

(診療科目) 内科、神経内科、リハビリテーション科、放射線科、歯科

(リハビリテーション関連事業等に対する支援)

住宅改修助成事業に対する作業療法士等の派遣

神戸市障害者更正相談所の補装具判定業務等への理学療法士派遣

フレイルチェック事業に係る理学療法士、作業療法士の派遣

【令和元年度実績】

① 患者数 (単位：人)

区分	新患者数	延患者数	患者数／日
入院	813	58,743	160.5
外来	699	2,738	11.3

(注)入院の新患者数は新規入院患者数。延患者数は前年度から引き続き入院している者を含む。外来の新患者数は初診患者数。

[参考] 新入院患者 813 人のうち紹介患者数が多い医療機関…①中央市民病院 (134 人)、②JCHO 神戸中央病院 (123 人)

③神戸救済会病院 (121 人)、④神戸医療センター (87 人)、⑤西神戸医療センター (70 人)

② 新入院患者の住所別患者数 (単位：人)

合計	市内	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	市外
813	770	6	15	17	29	276	44	125	163	95	43

③ 退院患者の状況及び平均在院日数 (単位：人)

退院患者数	退院先内訳				平均在院日数
	家庭	病院	老健施設	その他	
827	594	101	71	61	71.6日

④ 入院患者疾病別割合 (単位：%)

循環器系	神経系等障害	筋・骨格系	損傷・中毒	その他
43.4	1.2	14.6	39.1	1.7

⑤ 歯科治療 (単位：人)

初診	再診	計
290	855	1,145

⑥ 紹介MR検査の実施 年間 694人

4 介護老人保健施設の管理運営

病状が安定期にあり、入院治療を必要としない方を対象に、看護・介護・リハビリテーションを中心に医療・日常生活上の世話をを行い、家庭復帰と在宅生活の支援を目指す施設として、介護老人保健施設リハ・神戸を運営した。

<概要>

(所在地) 北区しあわせの村1番19号(神戸リハビリテーション病院南隣)

(施設規模) 鉄筋コンクリート造3階建 延床面積 約4,840㎡のうち、4,083㎡

(定員) 入所定員 90人(一般入所及びショートステイ)、通所定員 30人

(療養室) 4人室 20室、個室 10室

(開設日) 平成12年4月19日

【令和元年度実績】

① 利用者の状況

(単位：人)

区分	合計	入所経路・退所先					平均在所日数
		医療機関	家庭	老人保健施設	老人福祉施設	その他	
入所者	一般	96	62	34	-	-	307.4日
	ショート	181	-	181	-	-	
退所者	一般	101	29	57	2	10	6.5日
	ショート	182	1	181	-	-	
通所開始者	21	-	21	-	-	-	

区分	新規利用者合計	性別		平均年齢(歳)	年間利用者平均介護度	延利用者数	1日平均利用者数
		男性	女性				
入所者	一般	96	33	63	84.6	29,449	80.5
	ショート	181	23	158	84.5		
通所者	21	6	15	81.9	2.00	6,874	22.4

② 新規利用者の住所

(単位：人)

区分	合計	東灘区	灘区	中央区	兵庫区	北区	長田区	須磨区	垂水区	西区	市外
一般	96	2	1	-	1	62	8	13	5	2	2
ショート	181	-	1	-	1	168	-	-	9	1	1
通所	21	-	-	-	-	21	-	-	-	-	-

③ 新規利用者の疾病分類・紹介医療機関

(単位：人)

区分	合計	疾病分類				紹介医療機関		
		循環器系	神経系・感覚器	筋・骨格系	その他	病院	診療所	老人保健施設
一般	96	40	3	1	52	62	34	-
ショート	181	99	8	9	65	-	-	-
通所	21	3	2	2	14	16	5	-

5 訪問看護等事業

(1) 訪問看護事業

住み慣れた地域社会での療養の推進と介護者の負担軽減を図るため、4カ所の訪問看護ステーションを運営し、訪問看護及び訪問リハビリテーションを実施した。

ア. 事業所名等

- ① 東灘しあわせ訪問看護ステーション（くるる）（平成11年1月事業開始）
東灘区魚崎中町4丁目3番18号（魚崎中町デイサービスセンター2階）
（東灘区医師会と連携運営）
- ② しあわせ訪問看護ステーション（平成7年1月事業開始）
中央区吾妻通5丁目2-20（賀川記念館1階）
しあわせの村 サテライト（しあわせの村センター内）（平成29年4月開始）
- ③ 兵庫しあわせ訪問看護ステーション（平成22年10月事業開始）
兵庫区大開通1丁目1-1（神鉄ビル10階）
- ④ 西部しあわせ訪問看護ステーション（平成12年1月事業開始）
垂水区星陵台4丁目4番37号（神戸市垂水区医師会館内）

イ. 対象者

市内居住者で在宅寝たきり又はこれに準じた状態にある者、及び在宅で継続して療養を受けている者で、かかりつけの医師が訪問看護を必要と認めた者

ウ. 看護内容

- ① 健康状態の観察、相談
- ② 日常生活の看護
- ③ 在宅リハビリテーション
- ④ 認知症、終末期の看護
- ⑤ 医療器具装着者の看護

【令和元年度実績】

訪問看護

(単位：人、回数)

	東灘（くるる）	しあわせ	兵庫	西部	計
利用者数 [月平均]	192 (191)	244 (229)	180 (162)	253 (254)	869 (836)
訪問回数	13,011 (12,901)	17,850 (16,939)	12,914 (10,985)	17,941 (18,563)	61,716 (59,388)

(注) 下段（ ）は前年度

(2) 在宅介護支援事業

ア. 居宅介護支援事業（えがおの窓口）

介護保険制度における要介護認定の申請代行やサービス利用計画の作成相談窓口として、居宅介護支援事業を実施した。

5カ所の居宅介護支援事業所（えがおの窓口）で、ケアプラン管理及び介護予防ケアプラン作成業務に対応し、利用者サービスと質の向上に努めた。

（事業所名等）

- ① 東灘ケアプランセンター（ほくら・くるる）（平成12年4月事業開始）
東灘区魚崎中町4丁目3番18号（魚崎中町デイサービスセンター2階）
（東灘区医師会と連携運営）
- ② しあわせ訪問看護ステーション（平成12年4月事業開始）
中央区吾妻通5丁目2-20（賀川記念館1階）
- ③ 兵庫しあわせケアプランセンター（平成22年10月事業開始）
兵庫区大開通1丁目1-1（神鉄ビル10階）
- ④ しあわせの村在宅支援センター（平成12年4月事業開始）
北区しあわせの村1番19号（介護老人保健施設リハ・神戸 内）
- ⑤ 西部しあわせ訪問看護ステーション（平成12年6月事業開始）
垂水区星陵台4丁目4番37号（神戸市垂水区医師会館内）

（事業内容）

- ① 要介護認定の申請代行
- ② 要介護認定のための更新認定調査（東灘・兵庫・しあわせの村）
- ③ ケアプランの作成（あんしんすこやかセンターとの委託契約による介護予防ケアプランを含む）
- ④ 居宅サービス事業者等との連絡調整

【令和元年度実績】

（単位：件）

	ケアプラン 管理延数	更新認定調査件数
東灘ケアプランセンター （ほくら・くるる）	1,289	608
しあわせ訪問看護ステーション	847	—
兵庫しあわせケアプランセンター	1,865	456
しあわせの村在宅支援センター	2,494	581
西部しあわせ訪問看護ステーション	1,236	—
合計	7,731	1,645

イ. 地域包括支援事業

高齢者が、住みなれた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続することができるようにするために、できるだけ要介護状態にならないような予防対策から高齢者の状態やその変化に応じた介護サービス、医療サービスまでの様々なサービスを切れ目なく提供し、必要な援助、支援を包括的に行うため、神戸市からの委託を受け、地域包括支援センター（あんしんすこやかセンター）を運営した。

（事業所名等）

- ① 魚崎南部あんしんすこやかセンター（平成18年4月事業開始）
東灘区魚崎中町4丁目3番18号 魚崎中町デイサービスセンター2階
（東灘区医師会と連携運営）
- ② 新開地あんしんすこやかセンター（平成22年10月事業開始）
兵庫区大開通1丁目1-1（神鉄ビル10階）
- ③ しあわせの村あんしんすこやかセンター（平成18年4月事業開始）
北区しあわせの村1番19号（介護老人保健施設 リハ・神戸 内）

（事業内容）

- ① 介護予防事業に関するケアマネジメント業務
- ② 総合相談支援業務
- ③ 権利擁護業務
- ④ 包括的・継続的ケアマネジメント業務
- ⑤ コミュニティづくり支援、地域全体での高齢者の見守り・健康づくり活動の支援など
- ⑥ 高齢者支援拠点づくり業務(魚崎南部・しあわせの村あんしんすこやかセンター)

【令和元年度実績】

	相談延件数	介護予防 ケアプラン管理数
魚崎南部 あんしんすこやかセンター	6,381 件	4,191 件
新開地 あんしんすこやかセンター	9,181 件	3,548 件
しあわせの村 あんしんすこやかセンター	9,527 件	3,350 件
合 計	25,089 件	11,089 件

6 在宅医療・介護連携支援事業

(1) 医療介護サポートセンター事業

在宅医療と介護の連携を支援するため、神戸市から委託を受けて、中央区、北区を除く7区の医師会にコーディネーターを配置するとともに、全区のコーディネーターの研修等を実施した。

【元年度 コーディネーターの配置状況】

財団は14名を配置（東灘、灘、兵庫、長田、須磨、垂水、西の7区は各2名）

※北区はJCHO神戸中央病院、済生会兵庫県病院が雇用・配置

中央区は医師会が雇用・配置

(2) 認知症初期集中支援事業

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わる認知症初期集中支援チームを配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制の構築を目的として、神戸市より委託を受けて全区で実施した。

【令和元年度実績】 (前年度)

① 新規対応件数	165件	(137件)
② 自宅訪問件数	1,006件	(662件)

(3) こうべオレンジダイヤル（認知症総合電話相談窓口）

市民が気軽に認知症について相談いただけるよう、認知症に関する総合電話相談窓口として、「こうべオレンジダイヤル」の運営を神戸市から委託を受けて行った。

【令和元年度実績】

相談受付件数 799件

7 住宅改修助成事業等

在宅における高齢者等を支援するため、住宅改修助成事業等と介護保険住宅改修工事実地調査を神戸市から委託を受けて行った。

(1) 住宅改修助成事業

高齢者及び障害者のための住宅改修について、専門チームによる訪問相談及び改修費用の助成・貸付に関する業務を行った。

ア 助成対象者

次のいずれかを満たし、住宅改修が必要であると認められた者（所得制限あり）

- ① 要支援・要介護認定を受けた者
- ② 身体障害者手帳を受けた者

イ 助成限度額

100万円（介護保険支給分と合わせて）

【令和元年度実績】

（前年度）

① 申込件数	530件	(398件)
② 訪問調査件数	529件	(386件)
③ 完了件数	420件	(389件)

(ア) 助成額

区分	金額	助成率	1件当たりの平均額
改修総額	338,510千円	—	806千円
助成額	195,811千円	57.8%	466千円

(2) 介護保険住宅改修工事実地調査

37件